

1) 第11期事業計画概要

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構
代表理事 河村 二四夫

1. 自動車リサイクル士制度について

- 自動車リサイクル法はIT技術を活用した世界に誇る最先端の制度であるが、制度を進化させるためには、関係事業者への定期的な教育が重要である。
- 行政、関係団体等の指導を受けながら優良事業者の育成を目的とし、講習内容の充実や公平性の確保のための検討を進めるとともに自動車リサイクル士制度の認知度向上に向けた取り組みを継続する。
- FCV（燃料電池車）など新技术を広く業界へ周知を行うため、日本自動車工業会の協力を得て、教育資料の充実を図り、新規受講者拡大を目指す。
- 将来的には、「日本自動車リサイクル研究所」が開催運営する。

2. 資源循環の推進について

- より多くの会員事業所が参加できるように引取条件の多様化を図り、参加事業所のメリットを向上させることを目指し、国内資源循環促進に向けた取り組みを継続する。

3. 自動車リサイクル部品規格化に向けた取り組み

- 平成25年度閣議決定の第三次循環型社会形成推進基本計画では、優先順位の高い2R（「リデュース」、「リユース」）の取り組みがより進む社会経済システムの構築が新たな柱の一つとして位置付けられており、業界としてリサイクル部品の利活用を一層促進していくことが求められている。
- 経済産業省の「標準化委託事業」を通じ、関係団体・有識者・消費者団体などからご意見をいただきながら、自動車補修部品の「ラベリング規格」に関するJISの開発を進める予定である。
- 本取り組みは、自動車ユーザーにわかりやすい情報の評価・表示方法を新たに開発し、その記載項目及び記入要領等の標準化を行うものである。

4. 日本自動車リサイクル研究所について

- 自動車リサイクル関連研究の一元化へ向けた懸案事業への取り組みを開始する予定である。

2) 部会活動計画

平成 27 年度 総務部会 活動計画 (案)

部会長 木内 雅之

- 業界団体統合へ向けた活動
- 活動の透明化に向けた情報開示方法の検討
- 関係省庁や自動車関連団体との連携強化
- 10 周年事業の企画
- 事務局業務の効率化に向けた検討

平成 27 年度 ブロック長会 活動計画（案）

ブロック長会議長 平地 健

活動方針

「地域・ブロックの活性化と連携」で自動車リサイクルの進化を

活動スローガン

優良事業者の輪を広げ自動車リサイクル環境づくり

- 行政との定期的な情報交換
ブロック長：地方経済産業局や地方環境事務所との情報交換
年 1 回以上（ブロック会議への参加要請など）
地域団体長：都道府県や市町村の自動車リサイクル法担当との情報交換
年 1 回以上
- 自動車リサイクル士制度などを通じた「優良事業者の育成」による会員増強
ブロック：安定的な講習会の開催
地域：安全作業推進活動などの実施
- 共同出荷事業を通じたブロック・地域団体の連携強化
定期的に共同出荷事業などができる仕組みづくり
- ブロック・地域団体での定期的な意見交換による情報集約・発信
ブロック長会議：年 4 回開催
ブロック会議：各ブロックで年 2 回以上開催
（その他、1 ブロックだけでなく他ブロックとの合同会議なども検討）

平成 27 年度 リユース部品部会 活動計画（案）

部会長 長谷川 利彦

- 自動車補修用リサイクル部品の規格策定に向けた取り組み
自動車補修用リサイクル部品の利用選択から、その使用終了段階までに必要となる情報について、自動車ユーザーにわかりやすい情報の評価・表示方法を開発し、自動車補修用リサイクル部品に対する情報の構成・記載項目・記入要領等の標準化を検討する。
なお、本取り組みは、経済産業省が公募する「標準化委託事業」を活用し、「自動車補修用リサイクル部品のラベリング規格に関する JIS 開発」というテーマで実施する。
- 日本自動車リサイクル部品協議会との連携
日本自動車リサイクル部品協議会との連携を強化し、上記事業以外でも日本自動車リサイクル部品協議会と情報交換を行いながら活動を実施する。

平成 27 年度　トラック・バス部会　活動計画（案）

部会長　宮本　眞希

- トラック、架装物解体作業見学会及び意見交換会の開催
実際の解体作業を見学したうえでの意見交換会を日本トラックリファインパーツ協会（JTP）と連携して開催する。（2015 年 6 月実施予定）
- メーカー工場見学会の開催
日本自動車工業会・日本自動車車体工業会の協力を得て工場見学会を開催する。（2015 年 11 月実施予定）
- 日本トラックリファインパーツ協会との連携
日本トラックリファインパーツ協会（JTP）との連携を強化し、上記の活動以外でも日本トラックリファインパーツ協会（JTP）と情報交換を行いながら活動を実施する。

平成 27 年度 リサイクル技術部会 活動計画（案）

部会長 三木 康弘

- 自動車リサイクル士制度の運用
関係団体との意見交換を通じて、自動車リサイクル士制度の方向性や位置づけなどをあらためて考えながら、同制度のさらなる発展を目指す。
- インストラクター制度及び講師養成に関する企画運営
インストラクター制度に基づく講師養成講習会を企画運営するとともに、インストラクターへの展開支援を行う。
- エアバッグ車上作動処理新規契約事業者安全作業指導の実施
「安全作業指導員」によるエアバッグ類の適正処理を推進するための車上作動処理安全作業指導を本年度も行う。

平成 27 年度 広報部会 活動計画（案）

部会長 永田 則男

- 「ELV ニュースレター」の継続配信
毎月月末配信の「ELV ニュースレター」は、業界関係者のみならず幅広い分野からのインタビュー記事や論説を掲載するなどの企画を継続的に取り入れ、また、ELV 機構の活動状況、業界を取り巻く情報など、内容の充実を目指す。
- 「事務局だより」の継続配信
好評である毎週水曜日配信の「事務局だより」は、より親しみやすい内容構成とスピーディーな情報提供をコンセプトに継続配信を行ってゆく。
- ホームページの全面リニューアル
最新の情報を盛り込み、より親しみやすい ELV 機構のホームページを目指し、全面リニューアルを行う。
- 自動車リサイクルに関する情報収集・会員への情報提供
広報部会内での各部会や委員会の担当者を通じて、内部からの情報収集を継続して行う。また、定期的に行行政や関係団体より自動車リサイクルに関する情報収集活動を行い、ELV ニュースレター等で会員への情報提供を行う。
- ブロック会議への積極参加
各地域で開催されるブロック会議へ参加して、ブロック・地域へ直接取材を行うことで、ELV 機構内部や関係諸団体からの情報収集だけでは得られないより会員に密接した情報収集を図り、会員へのフィードバックを行う。
- ELV 機構会員との交流会
各ブロックの会員と交流の場を設け、ELV ニュースレターやホームページをより身近に感じていただけるよう広報活動を行うとともに、情報交換だけにとどまらない地域を越えた会員同士の交流を促す。

平成 27 年度 未来政策部会 活動計画（案）

部会長 清水 道悦

- 若手経営者の情報集約

- ① 若手委員を通して各地域の（市況変化・動向変化等）近況報告を行う。
- ② 各会社の取り組み（会社紹介・経営課題等）の新たな取り組みを発表し合い、情報共有を行う。
- ③ それらを通じて、若手経営者のネットワークを強化し、近況の報告や、新たな取り組みについて得られた意見や情報を、ELV 機構執行部へ報告する。

- 若手経営者育成講演会

- ① 行政（経産省・環境省等）から講演いただき、我々自動車リサイクル業界が「業界外から」どのように見られているか、何を期待されているのか、これからの将来展望について、「客観的な視野」を取り入れる。
- ② 業界内経営者から講演いただき、自動車リサイクル業界の歴史について教えを受ける。また、各専門分野（車両買取・輸出・販売等）に強い会社代表者を招く。

様々な諸先輩方から教えを受けることで、業界の歴史を認識し、これからの変化への認識と危機意識を高め、明るく希望ある業界発展になるよう、経営に活かす。

3) 委員会活動計画

平成 27 年度 資源循環委員会 活動計画 (案)

委員長 保坂 勇

- 資源循環促進に向けた「共同出荷事業」の継続
平成 23 年度から平成 25 年度の 3 年度にわたり実施してきた環境省請負事業を通じて確立した全国に及ぶ回収スキームを活かして、ELV 機構独自の「共同出荷事業」として資源循環促進に向けた活動を継続する。

【実施予定】 ※変更の可能性あり

- 回収物品：コンピューター基板／カプラー／センサー類
- 集荷方法：巡回集荷（年 2 回にわけて集荷）

4) ブロック活動計画

平成 27 年度 北海道ブロック 活動計画 (案)

ブロック長 石上 剛

- インストラクターによる講習会開催
自動車リサイクル士制度にもとづく実務士上級・実務士初級・管理士の認定講習会の開催を予定。
- 非鉄金属共同出荷事業
ELV 機構の共同出荷事業もしくは北海道ブロック独自での出荷を予定。
平成 27 年 11 月～平成 28 年 2 月で行う予定。

平成 27 年度 東北ブロック 活動計画（案）

ブロック長 平地 健

活動方針 地域団体の活性化と交流

活動スローガン 「次世代の育成」で地域団体の活性化

- ELV 機構の活動等の啓蒙活動
 - ブロック会議の開催
（年 4 回／7 月、9 月、11 月、2 月） 担当：平地
 - ブロック長会議への参加
（年 4 回／5 月、8 月、11 月、2 月） 担当：平地
 - 部会・委員会への参加 担当：各担当者
 - 理事会への参加 担当：平地、永田
 - 地域団体の行事等参加 担当：平地
- 適正処理の推進と不適正処理の撲滅
 - 自動車リサイクル士制度認定講習会の開催
開催地：仙台市内 担当：佐藤、平地
- 地域団体ごとに適正処理の推進を目的とした講習会の実施
 - 適正処理推進講習会
（年 1 回程度） 担当：平地、地域団体長、
インストラクター
- 啓蒙活動
 - 地域団体の活動や業界内の啓蒙ツールの集約
（年 1 回程度） 担当：長山
- ELV 機構の共同出荷事業への参加
 - 各地域団体で連携して参加を検討 担当：佐藤

● ブロック内地域団体の交流

東北ブロック地域団体合同交流会の開催

→ 監事団体：日本 ELV リサイクル機構 宮城県支部

(平成 27 年 9 月 25 日 (金) ~26 日 (土) 仙台市内で開催予定)

担当：平地

● 次世代との意見交換

次世代との意見交換の場を検討

(年 1 回程度)

担当：安東

【役員】

正ブロック長	平地 健	(宮城県)	広報部会、資源循環委員会担当
副ブロック長	佐藤 勇輝	(秋田県)	自り士講習会、リサイクル技術部会担当
副ブロック長	安東 元吉	(青森県)	未来政策部会担当
会計・監事	長山 義一	(岩手県)	トラック・バス部会、啓蒙活動担当
広報部会	永田 則男	(山形県)	広報部会長
広報部会	田村 幸男	(福島県)	広報副部会長

【インストラクター】

青森県自動車リサイクル協同組合	江原 祐孝
岩手県 ELV リサイクル協議会	中野 正和
岩手県 ELV リサイクル協議会	三浦 秋弘
日本 ELV リサイクル機構 宮城県支部	平地 健
秋田県自動車解体処理協同組合	呉宮 廣哉
山形県自動車解体協議会	竹内 昌彦
山形県自動車解体協議会	菅原 義久
福島県自動車リサイクル協同組合	榎並 憲行
福島県自動車リサイクル協同組合	渡邊 寛樹

【安全作業指導員】

日本 ELV リサイクル機構 宮城県支部	平地 健
秋田県自動車解体処理協同組合	呉宮 廣哉

平成 27 年度 関東ブロック 活動計画（案）

ブロック長 三枝 透

- ELV 機構会員の加入促進
未加入県の地域団体に対し、加入を打診し、入会を促進する。
- 行政との連携
行政に対し、ELV 機構の活動を積極的に広報する。
- 定期的なブロック会議の開催と情報の伝達
年 3 回のブロック会議を実施し、ブロック長会議の内容を地域団体に報告。
それを、各会員に伝達する。
→ ブロック活動費を有効に活用し、会員への確実な情報伝達を行う。
【開催予定日】
 - ① 平成 27 年 8 月 27 日～ 9 月上旬
 - ② 平成 27 年 11 月 26 日～12 月上旬
 - ③ 平成 28 年 2 月 25 日～ 3 月上旬

平成 27 年度 中部・北陸ブロック 活動計画（案）

ブロック長 金森 幸元

活動計画表

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2015 年 4 月	ELV 愛知 定例会	未定
2015 年 4 月 14 日	第 1 回 中部・北陸 ブロック会議	場 所：愛知県名古屋市／有限会社名古屋解体
2015 年 4 月 20 日	岐阜県 ELV 協議会 総会	未定
2015 年 5 月	ELV 三重 定例会	未定
2015 年 6 月	TMCA 総会	未定
2015 年 7 月 10 日	石川県中古自動車 部品協同組合 全体会議	未定
2015 年 9 月 4 日 5 日	第 2 回 中部・北陸 ブロック会議 (全体会議)／ 適正処理推進講習会	場 所：三重県
2015 年 7 月 10 日	第 3 回 中部・北陸 ブロック会議	場 所：富山県
2016 年 2 月 22 日	富山県自動車解体 部品組合 総会	場 所：富山県
2016 年 3 月 13 日	石川県中古自動車 部品協同組合 総会	場 所：石川県

- ELV 機構会員の加入促進
自動車リサイクル士制度認定講習会を受講した非会員事業所を中心に加入促進を図る。
- ブロック活動の活性化
年に必ず3回はブロック会議を開催することとし、ブロック内の会員と定期的に意見交換を行うことにより、ブロック活動の活性化を図る。
- 会員事業所の自動車リサイクル士の全社取得
- ブロック内各団体と担当行政との連携強化
情報交換や意見交換を積極的に行うことにより、担当行政・中央会・企業間での連携強化を図る。
- ホームページの活用（三重県）
ホームページを通じて、活動内容の紹介を行ったり、整備振興会との契約やエンドユーザーからの入庫誘導を図る。
- 資源循環への取り組み（三重県）
回収高度化事業を参考に県内独自で継続事業としていく。

平成 27 年度 近畿ブロック 活動計画（案）

ブロック長 高野 和憲

- ブロック活動
年 4 回はブロック会議を開催し、行政や関連団体との連絡を密にする。
- 地域団体の活動の活性化
地域団体の活動をこれまで以上に活性化してもらえるようにブロックでサポートする。
- 3R 推進キャンペーン
毎年大阪の組合で行っている活動を他の団体の方々にもご協力いただく。

平成 27 年度 中国・四国ブロック 活動計画（案）

ブロック長 古谷 一夫

- ELV 機構活動並びに地域活動の推進
ELV 機構の活動に参加するとともに、ELV 機構の活動に準じた地域の活動を推進していく。
- ELV 機構会員の加入促進
地域団体の協力を得て、各県の解体事業者に対する入会促進活動を実施する。
- 行政、自動車関連業者等との情報交換
行政や自動車関連業者等（整備業者など）をブロック会議へ参加してもらうことにより、情報交換を行っていく。

平成 27 年度 九州ブロック 活動計画（案）

ブロック長 伊地知 志郎

活動計画表

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2015 年 4 月 18 日	第 1 回 九州ブロック会議	場 所：福岡県福岡市／サンライフホテル 2・3 議 題：1. 講演 経済産業局 森永課長 2. 講習会・第 2 回全体報告会
2015 年 7 月 18 日	第 2 回 九州ブロック会議 (全体報告会)	場 所：熊本熊本市／ホテル日航熊本

- 九州ブロック全体報告会の開催（7 月 18 日）
九州ブロックすべての会員に対し、ELV 機構の取り組み等に関する報告を行うことにより、ELV 機構に対する理解を深めるとともに、交流を図る。

平成 27 年度 沖縄ブロック 活動計画（案）

ブロック長 松田 和生

- ELV 機構会員の加入促進
行政と連携して ELV 機構の活動を PR し、加入促進を図る。
- ブロック活動の活性化
年に 2 回はブロック会議を開催し、意見交換会等を行い、ブロック活動の活性化を図る。
- 自動車リサイクル士制度の周知
行政と連携し、自動車リサイクル士制度の周知を図り、会員以外の参加を促進していく。